

4-C

カヤ(榧)の巨木

イチイ科カヤ属
Torreya nucifera

■カヤの巨木は以下に分類する。

4-C-1 カヤの巨木

4-C-2 カヤの変種巨木(ヒダリマキガヤ・マルミガヤ・ハダカガヤ・コツブガヤ)

4-C-1 カヤの巨木

■カヤの巨木評価基準

- A 幹周おおむね 8m 以上の単幹樹、同等評価のカヤの巨木。
- B 幹周おおむね 6~8m の単幹樹、同等評価ののカヤの巨木。
- C B 評価以下のカヤの巨木。



■カヤの巨木

2015 年現在

評価 AA 国指定特別天然記念物級 A 国指定天然記念物級 B 都道府県指定天然記念物級 C 市町村指定天然記念物級

評価	巨木名称	幹周	樹高	所在地	天然記念物指定
A	万正寺の大カヤ 写真 K-001	M8.6m(分岐 0.3m 2006)	16m	福島県伊達郡桑折町万正寺字大榧	県
A	横室の大カヤ 写真 K-002	M8.39m(1.3m 2012)	24m	群馬県前橋市富士見町横室	国
A	与野の大カヤ 写真 K-013	M7.76m(1.3m)	21m	埼玉県さいたま市中央区鈴谷 4 丁目	国
B	塩貝の大カヤ 写真 K-004	7.7m	24m	福島県双葉郡楢葉町上繁岡字塩貝	町
B	長法寺の榧 写真 K-005	M7.4m(1.3m 2012)	25m	福島県田村市船引町上移町	町
B	西平のカヤ 写真 K-006	M6.64m(1.3m 2012)	16m	埼玉県比企郡ときがわ町西平	県

■カヤの巨木

2015年現在

評価 AA 国指定特別天然記念物級 A 国指定天然記念物級 B 都道府県指定天然記念物級 C 市町村指定天然記念物級

評価	巨木名称	幹周	樹高	所在地	天然記念物指定
B	宮ノ入のカヤ 写真 K-007	M6.5m(1.3m 2008)	25m	長野県東御市祢津	県
B	真福寺の大カヤ 写真 K-008	M6.0m(1.3m 2008)	16m	山梨県都留市小野	県
B	山口のカヤ 写真 K-009	M5.67m(分岐 0.3m 2008)	10m	岐阜県中津川市山口	市
B	清泰寺のカヤ 写真 K-010	M5.6m(1.3m 2008)	28m	山梨県北杜市白州町花水	県
B	智光寺の大カヤ 写真 K-011	M5.5m(1.3m 2008)	24m	山梨県笛吹市境川町藤袋	県
B	猿沢の箒カヤ 写真 K-012	M7.8m(分岐 0.3m 2008)	23m	岩手県一関市大東町猿沢字伊沢田	県
B	龍泉寺のカヤ 写真 K-013	8.2m(2本の合体木)	25m	栃木県足利市稲岡町	市
B	菅原の大カヤ 写真 K-014	7.1m(根元2分岐)	12m	大分県九重町菅原	なし
B	名古屋城のカヤ 写真 K-015	株周 M8.1m(0.5m 2008)	15m	愛知県名古屋市中区本丸1	国
B	法龍寺りカヤ 写真 K-016	M6.8m(1.3m 2007)	35m	茨城県久慈郡大子町上金沢	町
B	高勝寺のカヤ 写真 K-017	6.0m	18m	東京都稲城市坂浜 551	都
B	善福寺のカヤ 写真 K-018	7.0m	23m	和歌山県海草郡紀美野町勝谷	県
B	チハヤ養護園の榎 写真 K-019	6.9m	20m	群馬県みどり市笠懸町鹿	町
B	矢木のカヤ 写真 K-020	6.8m	10m	宮城県大崎市岩出山池月	市
B	小野の大カヤ 写真 K-021	6.5m	28m	兵庫県佐用郡佐用町下石井中土居	市
B	楯山の榎の木 写真 K-022	6.5m	20m	福岡県八女市星野村楯山	県
B	小島崎の大カヤ 写真 K-023	6.51m	20m	岩手県北上市小島崎	県
B	島尻の大カヤ 写真 K-024	6.2m	17m	山梨県南巨摩郡南部町内船	県
B	遍照寺のカヤ 写真 K-025	6.1m	28m	栃木県真岡市中	県
B	薬師堂のカヤ 写真 K-026	6.1m	20m	群馬県みどり市大間々町浅原	なし
B	上相賀の大カヤ 写真 K-027	6.55m	15m	静岡県島田市相賀上相賀	県
B	西念寺のカヤ 写真 K-028	6.0m	20m	三重県伊賀市島ヶ原中村	なし
B	小高のカヤ 写真 K-029	5.9m	21m	茨城県行方市小高	県
B	倉田の大カヤ 写真 K-030	5.9m	35m	埼玉県桶川市倉田	県

評価	巨木名称	幹周	樹高	所在地	天然記念物指定
B	新善光寺のカヤ 写真 K-031	6.1m	19m	千葉県山武郡横芝光町篠本	町
B	紀美野町のカヤ 写真 K-032	5.8m	不明	和歌山県海草郡紀美野町	なし
B	龍珠院のカヤ 写真 K-033	5.7m	32m	静岡県静岡市葵区栢沢	なし
B	北浜の大カヤ 写真 K-034	5.6m	22m	静岡県浜松市浜北区木沢合	国
C	大法寺のカヤ 写真 K-035	株周 M7.95m(0.3m 2008)	20m	長野県小県郡青木村当郷日向	村



◀写真 K-001 日本一のカヤ

まんしょうじ 万正寺の大カヤ

カヤの巨木を調査した結果、「万正寺の大カヤ」と「横室の大カヤ」が、同等程の迫力があり、双方を日本一にした。万正寺の大カヤは主幹と大小7本の幹が地上1~1.5m地点で分岐する樹形。樹齢800年とも900年ともいわれる由緒のある大カヤであるが、なぜカヤだけが取り残されたように存在するのか、いざさつがミステリアスである。



写真 K-002▶

日本一タイのカヤ よこむろ 横室の大カヤ

見事な単幹樹で、万正寺のカヤと同等と評価し、日本一のカヤに選定した。地元の旧家である金澤氏の先祖が、今から300年近く前にこの地に諏訪神社を祀った。大カヤはもともとこの地にあったものと推察され、以来ご神木として崇められてきた。諏訪神社は明治後期までここにあったという。



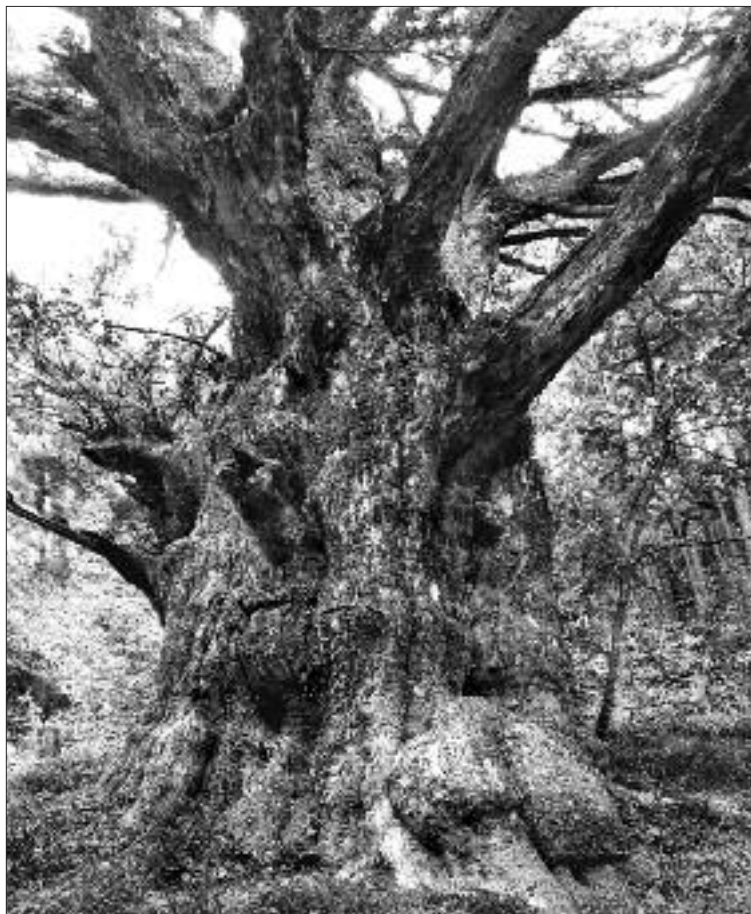
◀写真 K-003
よの
与野の大カヤ

見事な単幹樹で、地元では全国7位のカヤという事になっているが、調査の結果、単幹樹としては横室の大カヤに次ぎ全国二位、全体でも全国3位のカヤである。ここでも巨木DBのデータが災いして、立派な巨木が正当に評価されずにいた。
(写真・原一興)



▼写真 K-006
にいだいら
西平のカヤ

スギとヒノキの植林地に巨大な空間があり、その中心に堂々と立つカヤの大木。主幹は凹凸が激しく、折れた大枝が荒々しく突出している。谷側の枝は水平に15mも伸びて、見事な樹冠を形成している。

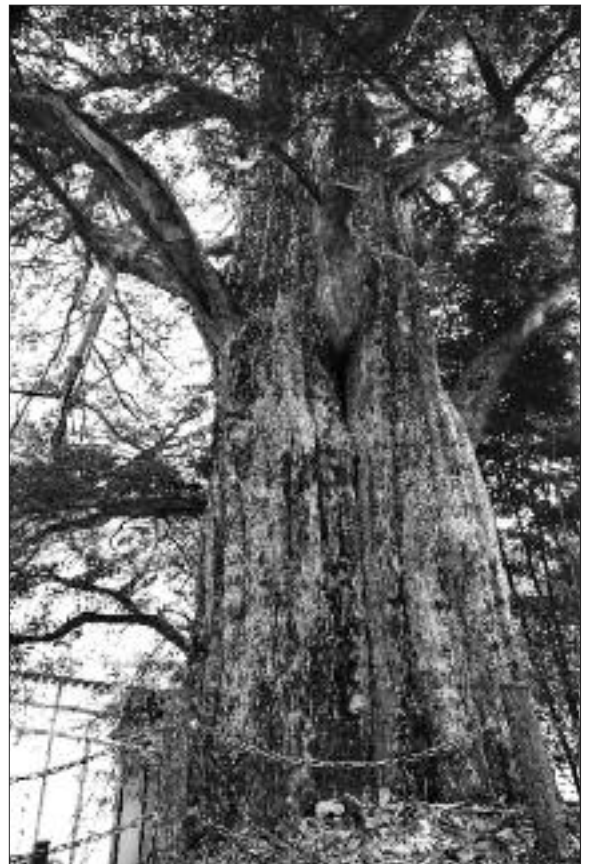


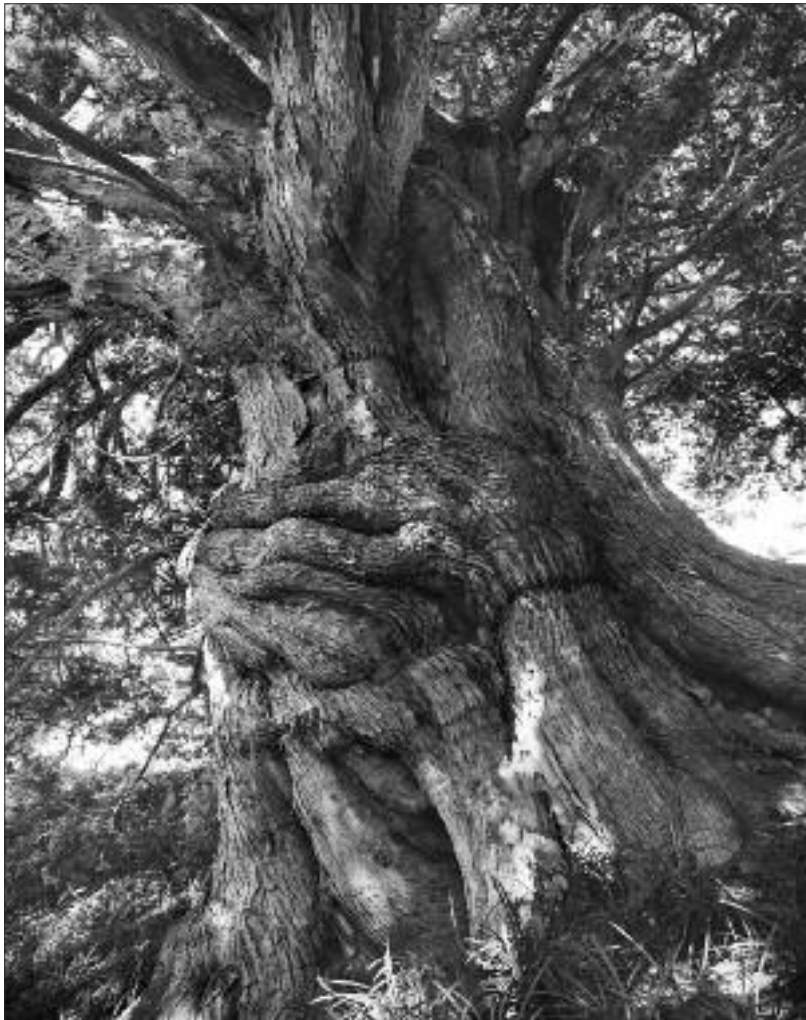
▲写真 K-004
しおがい
塩貝の大カヤ

坂本家の裏手に立つ。これより大きなカヤが2本あったが、戦後伐採された。(写真・Web 画像)

▼写真 K-005
ちようほうじ かや
長法寺の榎

単幹樹だが、2本のカヤが癒着した痕跡が見える樹形。





▲写真 K-007
みやのいり
宮ノ入のカヤ

禰津健神社の社領に立つ大カヤで、周辺は畑地である。珍しい立地。もともと禰津氏館の庭にあったという。主幹は振り上がるような荒々しい。



▲写真 K-008
しんぶくじ
真福寺のカヤ

参道石段の右手に立つ。3mで大枝が何本も斜上する樹形で、内部は空洞化しているようだ。



写真 K-010▶
せいたいじ
清泰寺のカヤ

茅葺きの山門の右前に立つ。根元に古い石仏が安置され、時代の古さを偲ばせている。ムラサキシキブの宿り木がある。



◀写真 K-009
やまぐち
山口のカヤ

集落の町道の際に立ち、その姿は美しい松の樹形を連想する。根元近くから幹周1~2m程の太い3本の太枝が斜上し、西側の太枝は下方に20m近くも伸び、カヤとは思えないような見事な樹形をしている。



▲写真 K-011
ちこうじ
智光寺の大カヤ

参道を100m程進むと正面に大カヤが立っている。根張りがもの凄く、その周囲は35mもあるという。まだ若々しいカヤである



▲写真 K-014
すがわら
菅原の大カヤ

根元近くで2分岐する樹形であるが、この背後は一部繋がりに、巨大感があるためB評価とした。



◀写真 K-017
こうしょうじ
高勝寺のカヤ

単幹樹で、都内最大のカヤとして知られる。
(写真・Web画像)



▲写真 K-012
さるさわ ほうき
猿沢の箒カヤ

地上1.5m程から多数に分岐する樹形で、全体が箒形になる事による。分岐幹樹形ではあるが、根元が繋がりに巨大感があるのでB評価とした。



▲写真 K-015
なごやしやう
名古屋城のカヤ

戦災で類焼したが、見事に蘇った大カヤ。根元分岐の樹形で、もはや巨大感はないが、歴史的遺産としてB評価した。



▲写真 K-013
りゅうせんじ
龍泉寺のカヤ

2本の合体木。癒着していた部分が腐食して脱落、奇妙な樹形になった。
(写真・Web画像)



写真 K-016▶
ほうりゅうじ
法龍寺のカヤ

境内奥には巨大な法龍寺のイチヨウがあり、巨木の寺である。イチヨウがあまりに大きく、カヤは小さく見えるが、見事な単幹カヤである。

写真 K-018▶
ぜんぶくじ
善福寺のカヤ

境内には2本のカヤの巨木があり、石段の上に立つ最大株。
(写真・谷田元彦)





▲写真 K-019
ようごえんのかや
 チハヤ養護園の榎

旧長円寺境内にあったカヤの巨木で、主幹にはひこばえが多い。(写真・Web画像)



▲写真 K-020
やぎ
 矢木のカヤ

カスミザクラが着生するカヤとして有名である。(写真・Web画像)



▲写真 K-021
おの
 小野の大カヤ

見事な単幹樹である。(写真・石田徹)



▲写真 K-022
けたやま かや
 桁山の榎の木

単幹樹で、根元が大きく広がる樹形である。(写真・石田徹)



▲写真 K-023
ことりざき
 小鳥崎の大カヤ

主幹は1.5mで2分岐するが、枝張りがよく、見事な樹冠を呈している。(写真・石田徹)



▲写真 K-024
しまじり
 島尻の大カヤ

旧家の裏庭に立つ単幹樹である。(写真・石田徹)



◀写真 K-025
へんしょうじ
 遍照寺のかや

樹勢のよい見事な単幹樹である。(写真・Web画像)

写真 K-026▶
やくしどう
 薬師堂のカヤ

堂の傍らに立つ見事な単幹樹である。(写真・Web画像)





▲写真 K-027
かみおおか
上相賀の大カヤ

個人所有の重量感溢れる主幹が見事である。



▲写真 K-030
くらだ
倉田の大カヤ

明星寺の境内に立つ単幹カヤで、樹高が高く見事である。
(写真・Web 画像)



▲写真 K-028
さいねんじ
西念寺のカヤ
(写真・赤司裕宣)



▲写真 K-031
しんぜんこうじ
新善光寺のカヤ
(写真・石田徹)

◀写真 K-033
りゅうしゅういん
龍珠院のカヤ

山門の背後に立つ見事な単幹樹である。(写真・石田徹)

▼写真 K-034
きたはま
北浜の大カヤ

枝張りが東西 21.5m、南北 25.5m の見事な大カヤ。国指定時の幹周 6.75m は誤認か？
(写真・Web 画像)



▲写真 K-029
おだか
小高のカヤ
(写真・石田徹)



▲写真 K-032
きみのちよう
紀美野町のカヤ

旧家の裏手に 3 本のカヤの巨木があり、その最大株。(写真・巨樹巨木巡礼 HP より)

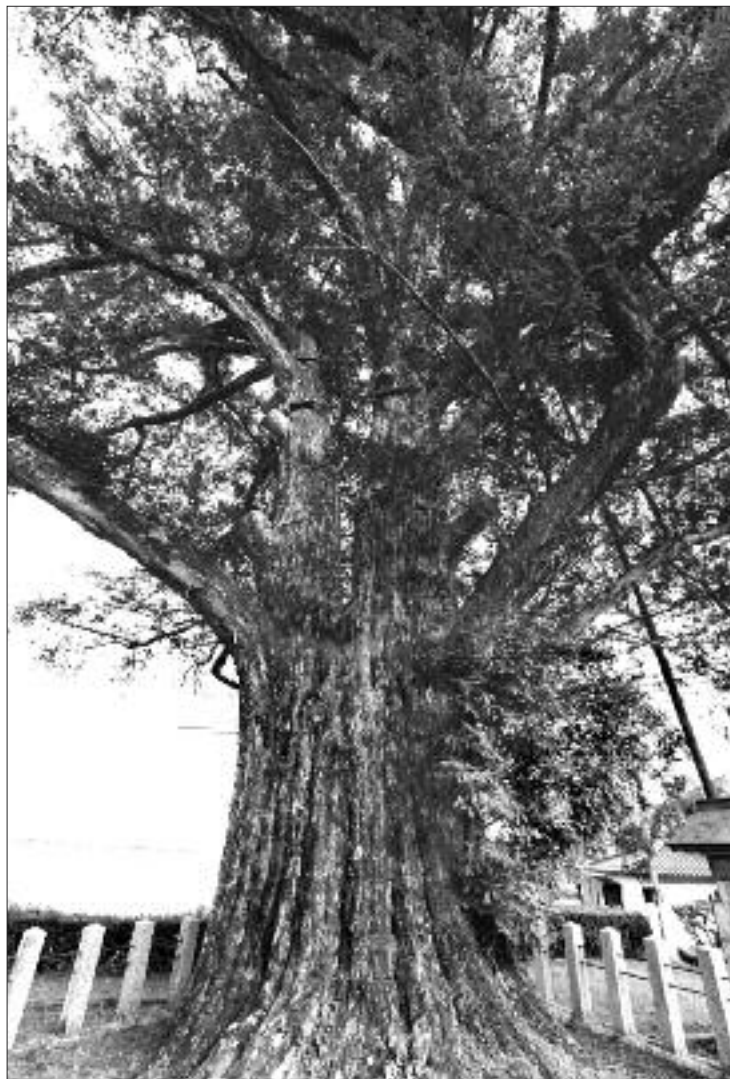


写真 K-035▶
だいほうじ
大法寺のカヤ

根元 4 分岐幹で、巨木 DB 幹周 10.7m は合計周？

4-C-2 カヤの変種巨木

■カヤの変種は、ヒダリマキガヤ・マルミガヤ・ハダカガヤ・コツブガヤ等が知られ、貴重な自然遺産であることから、その巨木は国指定天然記念物に指定されているものが多い。よって幹周如何に関わらず A 評価とする。



◀日本一のヒダリマキガヤ

たきのや
建屋のヒダリマキガヤ

兵庫県養父市能座 548

幹周 M7.27m(1.0m 2014)

樹高 26m 国指定

地元では「能座のヒダリマキガヤ」、「かやのきさん」等と呼ばれている。高台の台地に集落を見守るように立ち、4mで2分岐する樹形。

落下している実を調査すると、全てが左巻になっている訳ではなく、一部に見られる。(下写真)



▲熊野のヒダリマキガヤ

滋賀県蒲生郡日野町熊野

幹周 2.4m 樹高 30m 国指定

ふきあげだいし
▼吹上大師のカヤ(ヒダリマキガヤ)

石川県珠洲市越坂

幹周 M3.53m(1.3m 2010) 樹高 15m



そに
▼曾爾のヒダリマキガヤ

奈良県宇陀郡曾爾村大字葛 県指定

幹周 3.5m 樹高 25m 群生地である。

(写真・Web 画像)



じょうとくじ
▼浄徳寺のヒダリマキガヤ

兵庫県神崎郡上河町猪篠 町指定

幹周 4.45m 樹高 18.7m

(写真・谷田元彦)





ちようきゆうじ
長久寺のマルミガヤ

宮城県大崎市 県指定
幹周 7.0m 樹高
枝張りは東西 17.4m、南北
23.6m、巨大な樹冠を呈する。
(写真・Web 画像)



▲マルミガヤの実
(写真・石田徹)



とうしゆうじ
東昌寺のマルミガヤ

宮城県仙台市青葉区青葉町 8-1
株周 5.3m 樹高 17.5m 国指定
根元 2 分岐する樹形である。
(写真・Web 画像)



▲ハダカガヤの実
(写真・Web 画像)

ひおき
日置のハダカガヤ

兵庫県篠山市日置 167 国指定
幹周 4.0m 樹高 20m
カヤ特有の堅い殻がない珍木で、世界唯一の貴重な存在である。(写真・谷田元彦)

▼**庫蔵寺のコツブガヤ**

三重県鳥羽市河内町 国指定
幹周 4.15m 樹高 25m 実は直径 15mm 程しかない。(写真・Web 画像)



おほら
小原のコツブガヤ

宮城県白石市小原 国指定
幹周 2.6m 樹高 30m
実が通常の 6 割程度の大きさしかない珍木。
(写真・Web 画像)



■巨木 DB で過大評価されたカヤの巨木

カヤの巨木の特徴として、根元でよく分岐する。そのため、巨木 DB 特有の幹周測定法である、各幹の周囲を測定して合計する方法が採用され、数字が巨大化する。分岐幹を実際に測定する事は困難を極める事と、無意味としか思えない。



▲樹林寺のカヤ

宮城県大崎市 (写真・石田徹)

巨木 DB 幹周 17.0m。分岐幹の合計周?。測定方法不明。C 評価。



▲上里のカヤ

岩手県一戸町 (写真・石田徹)

巨木 DB 幹周 11.4m。測定方法不明。根元周囲は 5.4m とかなり小さい。C 評価。



▲大法寺のカヤ

長野県青木村

巨木 DB 幹周 10.7m。分岐幹合計周? C 評価。



▲市立図書館のカヤ

山形県新庄市 (写真・WEB 画像)

巨木 DB 幹周 11.4m。分岐幹合計周? C 評価。



▲神代カヤ

山形県大江町 (写真・石田徹)

巨木 DB 幹周 9.0m。分岐幹合計周? C 評価。

▼西禅寺のカヤ

長野県青木村 (写真・石田徹)

巨木 DB 幹周 10.66m 分岐幹合計周? C 評価



◀杖林寺のカヤ

宮城県栗原市 (Web 画像)

巨木 DB 7.3m。実際の幹周は 5m 程。測定方法不明。C 評価。